

# 3D 関西だより

No. 17 2015.01.25

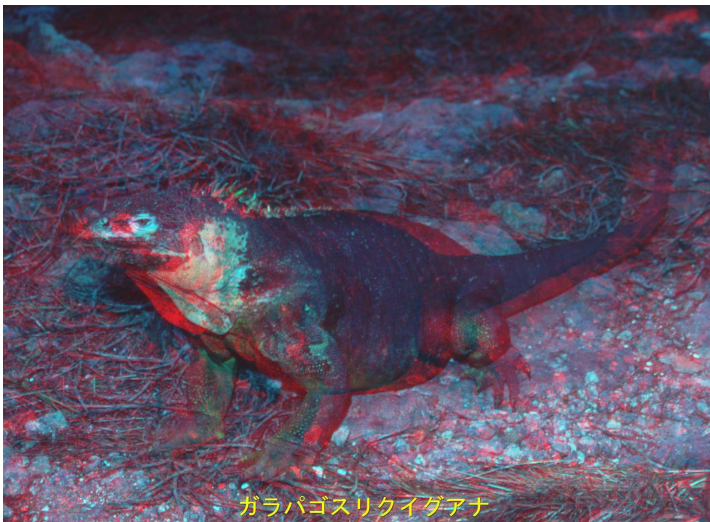
## 新年の例会を開きました

今年最初の例会が1月25日(日)に開かれました。出席者は13名で、ゲストとして守山ビデオクラブの山田会長が参加されました。守山のほうでは、3Dに関心を持つ人が増えてきて、ゆくゆくは3D琵琶湖のようなものを発足させたいという意向のようです。

前回に3D関西の役員体制を改変する意向を表明しましたが、今回出席者が少なかったので、本格論議は次回に持ち越すことにしました。次回には、人事も含めて提案できるようにしたいと思います。

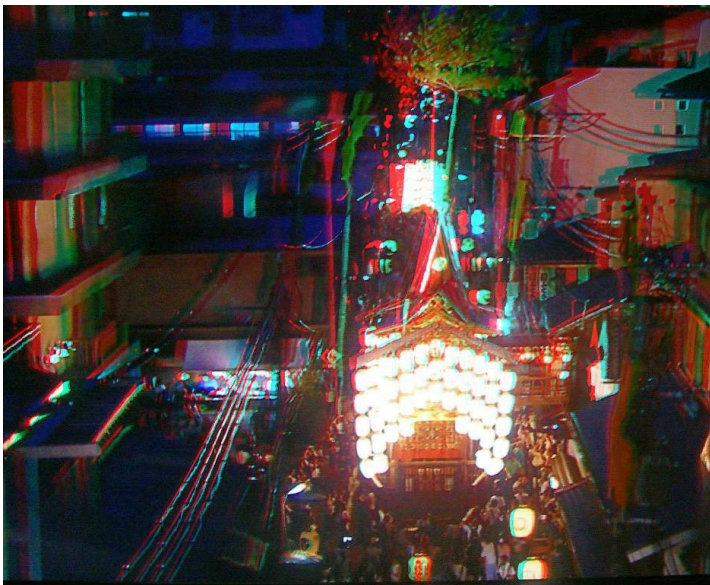
## 松原会長が4K用データ制作

4K時代間近と見て、松原会長は過去に撮ったカラースライドから3840 x 2160ピクセルのデジタル画像データを作り始めました。今回その第1弾として、「ガラパゴス諸島の生物」を発表しました。



## 太田さんが2D-3D変換作品を発表

太田さんが、2D-3D変換ソフトを使って作った作品を発表しました。



このソフトを使うと、手軽に2Dの写真が3Dに変換されるので、便利な面もありますが、細部を見ると、不自然な立体感が出ている箇所もあります。例えば近景に立っている木やススキなどの上部が遠くに向かってなびいているように見えます。しかしそのような欠点ばかりではなく、遠くの山などが立体的になるなどステレオベースを大きく取れないときなどに利用すると、面白い作品ができるかもしれません。ソフトで一括変換したあと、部分的に補正をすることができないのかどうか、研究してみてください。ただ今回の太田さんの作品は、元画像に他人の作品を使っているので、公開することができません。自分の作品か、許可を得た作品しか公に発表することはできません。

## 森さん、舟のへさきにカメラ固定

森さんが保津川の急流下りの3D動画を発表しました。ここで森さんは特別にお願いをして、舟のへさきにカメラを後ろ向きに取り付けさせてもらったそうです。できた映像は、舟のへさきから舟の中を見るようになり、船頭さんの仕事ぶりや緊張した表情、客の興奮するようすなどがみごとに表現されていました。この動画を完成させるために、森さんは何回も現場に足を運んだそうです。すごい力作です。



今回は3D表示装置として、西井さんの3Dテレビを使わせていただきました。3Dテレビは、プロジェクターよりも調整が簡単なので、会でもそろそろテレビに替えてはどうか、という意見もあります。ただ今回六田さんの丹頂鶴の動画がうまく上映できませんでした。これはテレビに問題があったのか、データに問題があったのかがよくわかりません。3Dテレビを購入するなら、そのあたりの問題をよく研究してからにしなければなりません。

以上のほか、例会で作品を発表されたのは、南さん(静止画)、渡辺さん(静止画)、西井さん(動画)、堀本さん(中判スライド)でした。

## ISU CODE 締め切り3/31

毎年2回応募しているISU CODE (ISU加盟のクラブが10点ずつ出品する3D写真スライドショー)の次の締め切りが3月31日に迫っています。3D関西は毎回欠かさず10点ずつ出品していますので、今回も同じようにがんばりたいと思います。会員の皆さん、張り切って傑作をものしてください。

## ISU大会、プサンで開催

今年は、隔年に開かれるISUの大会が、お隣の国、韓国、プサンで開催されます。期間は9月6~11日です。世界中から3D愛好家が集まって、作品を見せ合ったり、情報を交換したりします。期間中は、毎日楽しい撮影ツアーや上映会があって、時のたつのを忘れるほどです。

プサンは近いので、旅費もあまりかかりません。ISUの会員でない友人や家族の方も参加できるので、旅行を兼ねて参加されてはいかがでしょうか。ISUプサン大会の詳細は、まもなく、ISUのホームページに発表されると思います。